

▼ 12月13日
おじいちゃんの手さばきすごーい



白鶴保育所の園児が、上高柳老人クラブと一緒にしめ縄を作りました。
おじいちゃんたちは「まずは見て」と話すと、ギョッギョッと縄をねじり、シュッシュッと器用に形を整えていきます。その見事な手さばきを見た園児たちは「すごーい、私もやるー」の声。おじいちゃんたちの指導を受けながら、それぞれしめ縄を作り、新年を迎える準備をしていました。

▼ 11月30日
イルミネーションきらびやかに



商工会主催のふれあい広場イルミネーション点灯式は、同広場で開催され、多くの家族が訪れました。
点灯に先立ち、三好茂会長が「広場周辺は暗くなるので、赤やオレンジなど明るく、暖かくなるような色を使いました」とあいさつ。カウントダウン後、点灯されると会場からは歓声が上がリ、きらびやかな光にみんな目を奪われていました。イルミネーションは、1月15日まで楽しむことができます。

▼ 11月26日
西高柳が文化祭の売り上げを寄附



災害時に役立ててほしいと、西高柳地区(宇野洋一区長)は、文化祭の売り上げの一部を松前町大規模地震災害対策基金に寄附しました。
平成20年度から寄附を続けている同地区。「地域に根差した基金への寄附を続けていくことで、その輪を広げていきたい」と宇野区長の思いが込められた寄附に、白石町長も「力を入れている災害対策で有効に使ってほしい」と話していました。

▼ 11月15日
松前古城一座が公演



NPO法人古城一座(阿部好信代表)の公演は、独居老人サロン(筒井公民館)で開かれました。
公演では、舞踊、フラダンスや吟詠歌謡など多彩な演目で観客を魅了。最後はみんなで合唱を行い、盛況のうちに終了しました。
10月18日にNPO法人として、会員20人で新しくスタートを切った同法人。阿部代表は「今後は町内3地区の交流活動を行いたい」と話していました。

▼ 12月13日
孫と楽しくお餅つき



古城幼稚園で「ふれあい交流おももちつき」が開かれ、園児100人が祖父母とお餅を作りながら、交流を行いました。
「よいしょ」の掛け声に合わせて、祖父母と一緒にお餅をついた園児たち。慣れないきねに苦戦しつつも、祖父母に囲まれて楽しそうにお餅を作っていました。ついたお餅はあんこを入れて丸めて、みんなで楽しく食べました。

▼ 12月4日
愛顔あふれる地域を目指して



「障がい者の愛顔あふれる松前町の地域づくりミニフォーラム」は、松前総合文化センターで開かれ、町内外から約120人が参加しました。
同フォーラムでは、聖カタリナ大学の山本克司教授の講演や「共生社会について」と題して討論を実施。互いの思いを尊重し、受容する気持ちを持つことが障がいのあるなしに関係なく大切であること、それには地域の支えが必要であると参加者に訴えていました。

▼ 11月29日
農家が新米をPR



岡田・松前うまい米づくり部会の「岡田もち試食会」は、(株)松山生協岡田店で開かれ、会員らがつきたての餅を配りました。
当日は良品で粘りのある「岡田もち」とエコ栽培米「松前育ち」も販売され、新米を味わおうと訪れた人々にぎわいました。親子で訪れた菊池さん家族は「農人＝は「もち米を買いました。普段から地元のものを食べるようにしています」と話していました。

▼ 11月23日
まさき村で珍味無料配布



四国珍味商工協同組合は11月23日(いいつまみ)の「珍味の日」に合わせ、まさき村で珍味を無料配布しました。毎年恒例となっているこの行事。当日は開始前から長蛇の列ができ、用意していた440セットは10分ほどでなくなりました。
ラジオを聞いて駆け付けた吉野さん家族は「子どもも珍味が好きなので、帰って家族みんなで食べます」と笑顔で話していました。